

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-162747
 (43)Date of publication of application : 29.06.1993

(51)Int.Cl.

B65D 5/72
 B65D 25/52

(21)Application number : 04-141936
 (22)Date of filing : 08.05.1992

(71)Applicant : DAINIPPON PRINTING CO LTD
 (72)Inventor : KAWAI TAKAHIRO

(30)Priority

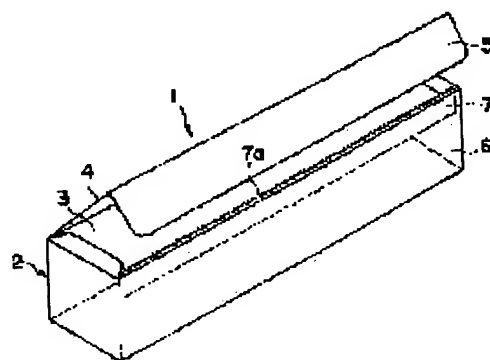
Priority number : 03133223 Priority date : 10.05.1991 Priority country : JP

(54) CUTTER AND CARTON FOR CONTAINING PACKING SHEET WITH THE SAME CUTTER

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain the above cutter and carton, said cutter being easy to attach, excellent in disposability, and safe when sheet is drawn out.

CONSTITUTION: A cutter 7 is formed by stamping it out from a rigid quality paper and attached to a container for packing sheet at a position for severing the packing sheet and by the use of an adhesive, or pressure-sensitive adhesive. For the rigid quality paper vulcanized fiber or parchment paper is employed. The packing sheet can be cut by a saw-toothed part 7a of the cutter 7 smoothly and safely. The cutter 7 can be attached in place easily. The cutter 7 is easy to burn, since it is of paper fiber. The cutter 7 itself can be attached to a different carton or a box containing an adhesive tape or the like.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 30.04.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3034691

[Date of registration] 18.02.2000

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-162747

(43) 公開日 平成5年(1993)6月29日

(51) Int. Cl. ⁵

B65D 5/72

25/52

識別記号

A 7445-3E

E 6540-3E

F I

審査請求 未請求 請求項の数 6 (全4頁)

(21) 出願番号 特願平4-141936

(22) 出願日 平成4年(1992)5月8日

(31) 優先権主張番号 特願平3-133223

(32) 優先日 平3(1991)5月10日

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72) 発明者 川井 孝弘

東京都新宿区市谷加賀町1丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

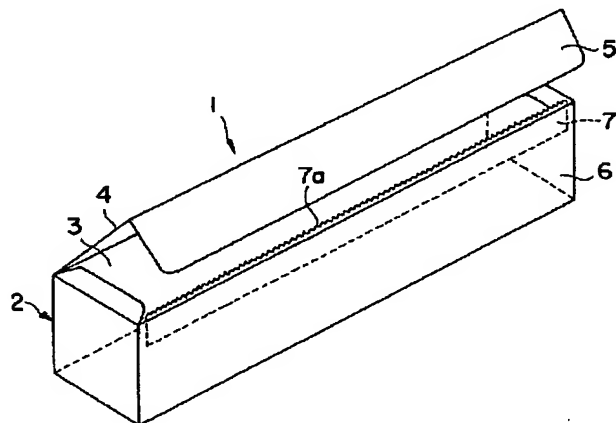
(74) 代理人 弁理士 土井 育郎

(54) 【発明の名称】 カッター及び該カッターを用いた包装用シート収納カートン

(57) 【要約】

【目的】 取付けが容易で廃棄性に優れると共に取り出し操作が安全なカッター及び該カッターを用いた包装用シート収納カートンを提供する。

【構成】 硬質の紙を打抜形成したカッター7を形成し、これを包装用シートの切断位置に接着剤や粘着剤などにより取り付ける。硬質の紙としてはバルカナイズドファイバー或いはパーチメント紙を使用する。包装用シートの切断はカッター7の鋸刃状部分7aで円滑かつ安全に行われる。カッターの取付けが容易であり、しかもカッター7は紙繊維からなるので焼却が容易である。カッター自体はその他のカートンや粘着テープ等の箱に取り付けて使用できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 硬質の紙からなり一辺に打抜形成された鋸刃状部分を有することを特徴とするカッター。

【請求項2】 前記硬質の紙がバルカナイズドファイバーであることを特徴とする請求項1記載のカッター。

【請求項3】 前記硬質の紙がパーチメント紙であることを特徴とする請求項1記載のカッター。

【請求項4】 ロール状に巻かれた包装用シートをカートン本体の開口部から引き出して切断する包装用シート収納カートンにおいて、硬質の紙を打ち抜いて形成した鋸刃状カッターを前記カートン本体におけるシート切断位置に取り付けたことを特徴とする包装用シート収納カートン。

【請求項5】 前記硬質の紙がバルカナイズドファイバーであることを特徴とする請求項4記載の包装用シート収納カートン。

【請求項6】 前記硬質の紙がパーチメント紙であることを特徴とする請求項4記載の包装用シート収納カートン。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、シート状物や帯状物を切断するためのカッターに関し、さらには該カッターを用いた包装用シート収納カートンに関するものである。

【0002】

【従来の技術】食品等を包むラップフィルム、アルミ箔等の包装用シートは、通常、紙筒にロール状に巻かれた状態で板紙製のカートン内に収納されている。そして、このような従来の包装用シート収納カートンにおいては、所望の長さ引き出した包装用シートを切断するために、金属製のカッターがカートン本体におけるシート切断位置に取り付けられている。また、粘着テープ等を収納した箱にあっても、そのテープ切断の便宜を図るために、開口位置に金属製のカッターを取り付けるようにしたものが知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記の如き金属製のカッターを有した従来の包装用シート収納カートンや粘着テープ等の箱にあつては、カッター自体の切れ味は良いという利点はあるものの、カッターをかしめて取り付け工程が面倒であり、また、包装用シートや粘着テープ等を引き出して切断する場合に、カッター部分で怪我をするという問題点もあった。さらには、使用後に焼却すると金属製のカッター部分だけが燃え残って焼却炉を傷めるといった問題点があるので、いざ廃棄する場合には、昨今の環境問題からカッター部分の分別が必要となってきた。

【0004】本発明は、上記のような問題点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、カッターの取付けが容易で廃棄性に優れると共にシートやテープ

の引出し切断操作が安全に行えるカッター及び該カッターを用いた包装用シート収納カートンを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明のカッターは、硬質の紙からなり一辺に打抜形成された鋸刃状部分を有することを特徴としている。

【0006】そして、上記硬質の紙としては、バルカナイズドファイバー又はパーチメント紙を使用することができる。

【0007】また、本発明の包装用シート収納カートンは、ロール状に巻かれた包装用シートをカートン本体の開口部から引き出して切断する包装用シート収納カートンにおいて、硬質の紙を打ち抜いて形成した鋸刃状カッターを前記カートン本体におけるシート切断位置に取り付けたことを特徴としている。

【0008】そして、上記包装用シート収納カートンにおける鋸刃状カッターとして、バルカナイズドファイバー又はパーチメント紙を使用することができる。

【0009】

【作用】上記構成からなる本発明のカッターでは、硬質の紙の硬さを活かした良好な切れ味が発揮される。また、カッター自体が紙繊維で構成されており、廃棄処分しても焼却が容易に行われる。また、紙製のカートンや箱に対し接着剤等により容易に取り付けられる。

【0010】また、上記構成からなる本発明の包装用シート収納カートンでは、包装用シートの取出し操作、すなわち包装用シートを引き出してカッターの先端で切断する操作が円滑に行われる。

【0011】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。なお、以下の実施例ではカッターを取り付けた包装用シート収納カートンについて説明するが、カッター自体は、本実施例のカートンに取り付けられたものに限定されるのではなく、形状を変えて他の形式のカートンや粘着テープ等の収納箱などにも使用できることは言うまでもない。

【0012】図1に第1実施例としての包装用シート収納カートンを示す。この包装用シート収納カートン1におけるカートン本体2の上部には、ロール状に巻かれたシートを引き出すための開口3が設けられており、この開口3に開閉する蓋体4が後側壁に連続して設けられ、蓋体4の先端には掩蓋片5が連設されている。さらに、前側壁6の内面上部にはホットメルト等の接着剤や粘着剤などによりカッター7が取り付けられている。

【0013】このカッター7は、厚さが0.3mmでロックウェル硬度が90~120のバルカナイズドファイバー或いはパーチメント紙よりなり、これら硬質の紙を打抜機で図2に示す形状に打ち抜いて上縁に鋸刃状部分7aを形成したものであって、カートン本体2の前側壁

6の上縁のほぼ全長に渡ってこの鋸刃状部分7aが突出する状態で取り付けられている。なお、カッター7を連続的に打ち抜いた場合には、下縁側にも鋸刃状部分が形成された形態となる。

【0014】上記のバルカナイズドファイバーとしては、木材繊維又は綿で作られたファイバー原紙を塩化亜鉛溶液に浸漬して積層し、膠化剤たる塩化亜鉛溶液を水洗により充分に除去した後、乾燥、圧搾などの工程を経て整形仕上げされた公知のものを使用できる。また、ウレタン樹脂などの樹脂をコートして強度を上げたものを10使用することもできる。一方、上記のパーチメント紙としては、木綿繊維又は木材化学パルプからできた紙を濃硫酸で処理した後、完全に水洗いして乾燥して製造された公知のものを使用できる。これらの硬質の紙は組織が緻密で硬度的に優れており、食品等に対する安全性にも問題のないものである。

【0015】そして、これらの紙のうち、所定の厚さとロックウェル硬度90~120を有するものを使用し、上記のカッター7が形成されている。ここで、ロックウェル硬度が90未満では柔らかすぎ、またロックウェル硬度が120より大きいと安全性が問題となる。実10用的には、ロックウェル硬度100~110のものを使用するのが好ましい。また、厚さは0.2~0.5mmの範囲が適当である。すなわち、0.2mmより薄いと強度が不足し、0.5mmより厚いと切れ味が悪くなるからである。なお、カッター7をカートン1に取り付けるには、エマルジョン接着剤貼り、粘着剤貼り、ホットメルト貼り、裏面タック加工貼り等の手段を用いることができる。

【0016】図3は本発明の第2実施例である包装用シート収納カートンの斜視図を示している。この包装用シート収納カートン11は、カッター17が底面18の前側壁16寄りに取り付けられたタイプのものであり、前側壁16の下端のほぼ全長にわたって鋸刃状部分17aが突き出た状態となっている。カッター17は、前記した厚さが0.3mmでロックウェル硬度が90~120のバルカナイズドファイバー或いはパーチメント紙を打ち抜いて形成されたものである。このタイプのカートン11では、一方の手でカートン本体12の上部開口13からシートの端部を掴んで引き出し、他方の手で蓋体14を閉じて15との間にシートを挟んだ状態とし、他方の手でカートン11を回転させながら一方の手でシートの端部を引っ張ってカッター17の鋸刃状部分17aでシートを切断する。

【0017】上記第2実施例のカートン11においては、カッター17の一方の面全体に設けた粘着剤により該カッター17をカートン本体12の底面18に取り付けるようにすると、包装用シートがラップフィルムである場合に、このラップフィルムを切断した時の巻き戻りが防止できるという効果がある。具体的には、上記バル

カナイズドファイバー或いはパーチメント紙に、例えば、架橋型アクリル系粘着剤を32g/m²の厚さで塗布して離型紙を貼り合わせたシート状物を使用し、このシート状物を図2に示すのと同様な形状に打ち抜き、離型紙を剥して露出させた粘着剤によりカートン本体12の前側面16の下端から鋸刃状部分17aが突き出るようにして底面18に取り付けるものである。このようにすると、鋸刃状部分17aの突き出た部分の裏側に粘着剤が露出した状態となるので、ラップフィルムをカートン本体12の上部開口13から引き出し、15で押さえつつ引っ張って切断すると、残ったラップフィルムの先端はこの粘着剤とくっ付いた状態となり、残った側のラップフィルムがカートン本体12内に巻き戻るのが防止される。

【0018】図4は本発明の第3実施例である包装用シート収納カートンの斜視図を示している。この包装用シート収納カートン21は、15の先端がV字状に緩やかに傾斜した形状をしており、カッター27が15の25の内面先端に取り付けられたタイプのものである。また、蓋体24と15は25の28の両側の側板28により固定されており、不使用時には蓋をすることができるようになっている。そして、このカッター27は、前記した厚さが0.3mmでロックウェル硬度が90~120のバルカナイズドファイバー或いはパーチメント紙を打ち抜いて形成されたものである。このタイプのカートン21では、一方の手でカートン本体22の上部開口23からシートの端部を掴んで引き出し、他方の手で15と26との間にシートを挟んだ状態とし、一方の手でシートの端部を手前に引っ張ってカッター27の鋸刃状部分27aでシートを切断する。なお、15の25の先端がV字状でなく、真っ直ぐなタイプのものでも同様である。

【0019】

【発明の効果】本発明は上述のように構成されているので、次に記載する効果を奏する。

【0020】本発明のカッターは、硬質の紙の硬さを活かした良好な切れ味をもっていることから従来の金属製カッターの代替が可能であり、しかも金属製カッターほど鋭利ではないのでシートやテープの引き出し切断時に怪我をすることもない。さらには、接着剤等により取り付けることができるので金属製カッターに比べて包装用シート収納カートンや粘着テープ等の箱などへの取付けを容易に行える。また、紙繊維からなり焼却が容易であるので、カートンや箱などに取付けたままで廃棄しても環境問題を起こすことがない。

【0021】本発明の包装用シート収納カートンは、紙繊維からなるカッターを備えており、使用後にカッターを分別せずに廃棄しても全体を容易に焼却できる。したがって、昨今の環境問題に適応した廃棄性の優れたものとなっている。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の第 1 実施例である包装用シート収納カートンの斜視図である。

【図 2】 カッターの一部拡大平面図である。

【図 3】 本発明の第 2 実施例である包装用シート収納カートンの斜視図である。

【図 4】 本発明の第 3 実施例である包装用シート収納カートンの斜視図である。

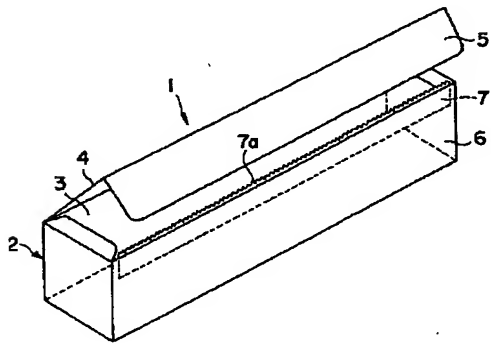
【符号の説明】

1, 11, 21 包装用シート収納カートン

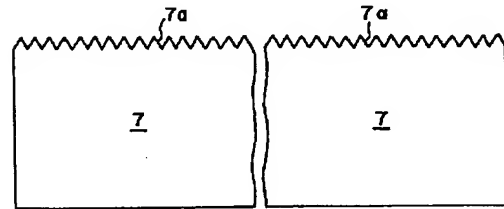
2, 12, 22 カートン本体

7, 17, 27 カッター

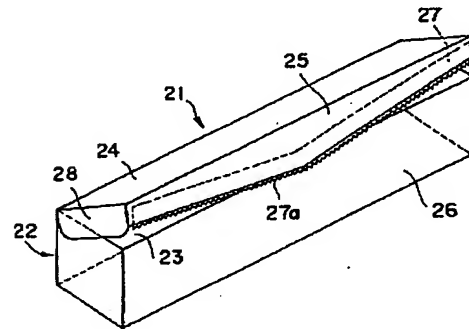
【図 1】



【図 2】



【図 4】



【図 3】

